

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 ☎763-5110
 会長 加藤 敏昌
 幹事 青山 敏郎
 会報委員長 小池 宗

No. 18

ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは 希望を もたらす

1986~87年度

RI会長 M.A.T. カバラス

第212回例会 昭和61年11月4日(火) 晴

- ◇ “君が代”
- ◇ “奉仕の理想”
- ◇ 出席報告
 会員 57名 出席 47名
 出席率 82.46%
 前回 10月30日(修正出席率)98.25%

- ◇ ビジター紹介 10名
- ◇ お誕生日祝福
 青山夫人(11/4)、北野夫人(11/7)
- ◇ ニコボックス
 新美 敢君 第260地区ロータリー財団委員長、大隈孝一さんをおむかえして。
 池田 隆君 私の友人の前野 漢さんが、豊山一城北RCよりきてくれました。ありがとう。

加藤 正義君 名古屋市信用農業協同組合の表彰ありがとうございました。

林 淳三君 ホームクラブごぶさたしました。

木全 昭二君 青年功績賞表彰に、ボーイスカウトリーダーより選出していただき。

黒須 一夫君 青少年奉仕よりボーイスカウトの永田敦士君を迎えて。

西村 禎二君 先日のファイアサイドミーティングの二次会にては、いろいろありがとうございました。鷲野さん、ありがとうございました。

青山 敏郎君、北野 寿三郎君 夫人誕生日祝い。

石田 耕嗣君 結婚記念日祝い。

◇ 青山幹事報告

1. 次週例会は職場例会で、場所をワキタ商會に変更しますので、おまちがいのないようお願いいたします。

~~~~~ 青年功績賞表彰 ~~~~~

当クラブのエリア内で、最も活発な青少年団体の団員2名に、青年功績賞を授与いたします。

永田 敦士君
長井 一幸君

(黒須青少年奉仕委員長)



◇ 加藤(敏)会長挨拶

先日、老人性脳萎縮についてお話ししましたが、老化は脳だけに留まりません。全体に残念ながら老化が起きることは、不老不死の妙薬でも出来ない限り避けられません。女性の容姿の評価はその時代により価値観が色々変わって参りました。美しくありたいという願望は女性にとって命の次に大切な事のようにです。新聞の広告欄を見ても、特に最近スリムになる為の誇大広告が目につきます。私の身近で最近「プアール茶」をその目的の為に常用していた者がいます。2ヶ月程連用したようですが、ある日突然腰痛と著明な血尿を起しました。私自身が顕微鏡でその尿を見て驚いた程の血尿でした。他に何か原因があつてはと思い、色々検査をしましたが、特に異常は見つかりませんでした。結果的に見ればその「プアール茶」いわゆるカビ茶と称する物が元凶であるとの結論に達し、その連用を禁止しました所、血尿はすぐ正常に戻りました。「プアール茶」即ち「カビ茶」は危険であるとある人に申しました。それは茶が古くなってカビが生えたんだらうと一笑に付

されましたが、現実に漢方薬としてこれは市販されています。私自身も試飲してみましたが、とても飲めたものではありません。「スリム」になる為には女性はいかに苦痛に耐えるかという事に、今更のように驚かされました。「ダイエット」も度を過ぎると、とんだ事になりますので会員の中で肥満を気にしておられる方も、よくよく考えて、食事及び日常生活にご注意下さい。ここに脊椎の老化を起した写真をお見せしますが、肥満体の方には早くから発生します。

◇講演

“ロータリー財団とは”

第260地区ロータリー財団委員会

大隈 孝一 委員長



ロータリー財団の仕事は、奨学生のことばかりではありませんが、通常はそのように考えられています。大勢のロータリアンから寄付を受けて世界中の若い学生に外国へ留学する機会を与えるというロータリーとして立派な仕事の一つであると考えています。

このことは過去に外貨がなかなか手に入らない時代からあったわけで貴重さということでは今とは格段の差があったといえます。

奨学生の数もここ数年は4～5人でしたが現在は17人にまで増えています。外貨手当は楽になったわけですが人数が大変増えておりこれはこれで選考が難しいことになってまいりました。各クラブの委員会ですっきり選別してより良い人を推薦いただきたいと思います。

このように厳格にやっていただきますと試験の方もスムーズにまいるということです。しかし、試験だけではなくロータリーの目的に合うような良い人材を選ぶことが必要であります。外国との親善にプラスになる人ということになりましょうか。このように親善使節でもありますので日本のことを良く知っていただきたいと思います。

次に、奨学生は各クラブで推薦いただくのでクラブで当人のカウンセラーを1人決めていただきたいと思います。派遣の年だけでなく帰ってきてからもお願いしたいからです。出発時のオリエンテーションにも是非御一語

願おうと考えています。

財団資金の一部はポリオ・プラス運動にも回っておりますように奨学金以外にも支出されているのが最近の動きだといえます。しかし、皆さんに更に負担をかけることもまずいということで、17人の枠を3人分削減して、その分をそちらへ回すようにいたしました。このように財団の仕事もだんだん複雑になってきたといえます。（文責 小池）

最後のお願

世界理解と平和に1票を投じるために、財団月間中(11月)全員で出かけようではありませんか。投票場も投票用紙もなく、国際ロータリーのロータリー財団が存在しているだけです。そしてロータリー財団は私達の支援を必要としています。ポール・ハリス・フェローや3-Hボランティアになりましょう。ポリオ・プラスに寄付しましょう。

11月に、ロータリー財団のためにあなたの1票を投じて下さい。よりよい世界のために立ち上がって下さい。

申し分のないデザート

ロータリーの発足以来、クラブは、クラブ奉仕という基本的食事によって存続してきました。出席、クラブ・プログラムへの参加、それに罰金や会費は、80年以上にわたってロータリー・クラブを健全かつ強固にしてきた要素の一つなのであります。私達のクラブはこの本質を抜きにしては生き残ることはできませんが、この食事にスパイスをかけてみませんか。すなわち、クラブの特定のニーズにふさわしい奉仕を加えるのであります。これを、クラブのいつもの食事を補う、申し分のないデザートと考えましょう。

一層の成果を上げるロータリー

ロータリーの発展は、厳しい出席と職業分類の原則を考えると、素晴らしいものと言えましょう。私達が、求める最上の人の中からロータリアン候補者を求めるとき、長い目で見て、ロータリーは一層の成果を上げるのであります。自己の職業で最高の地位にある人は、他の人以上に熱心に参加するであります。出席規定のおかげで、ロータリーにとどまるのは、ロータリーを本当に愛する人達だけです。関心のない人は程なく脱落し、その人の職業分類は空席となり、本当に望んでいる人が利用できるようになります。

(情報抄録より)

◇次回例会(11月11日)

職場例会

(株)ワキタ商會にてPM 12:30より

◇次々回例会(11月18日)

講演 “名古屋の水道について”

名古屋市水道局局長

堀内 厚生 氏

(紹介 小林君)